

北海道幌加内高等学校の行動計画（グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和6年度に重点化する取組及び具体的方策			
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	(1) 地域農家や関連企業が抱える問題をプロジェクトのテーマとして活動します。 (2) 農業学習で得た知識・技能・成果を外部実践します。	・そばを活用したプロジェクト活動の実施（そば粉を活用した新商品の開発、販売）。 ・幌加内町新そば祭りで全校生徒で2,000食のそばを提供した。	・取り組みや活動は十分に評価できる。活動の継続と成果を形にしていきたい。 ・生徒数の減少による実施方法の改善が必要である。	4
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	(1) G-GAPの取り組みに準拠した農場	・G-GAPに準拠した栽培管理。	・収穫や出荷調整（保存や保管含む）、環境の整備に取り組んでいるが、認証農場への視察など、研修の機会を増やしたい。	3
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1) 農業体験実習を継続実施します。	・町内農家ならびに関連機関で3日間の実習を実施（学校設定科目「農業体験実習」）。	・概ね計画通りの実施が出来たが、町内農家の減少により受け入れ先の確保が困難になってきている。実施方法の見直しが必要。	4
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	(1) 農業の六次産業教育を推進します。	・学校設定科目「六次産業化概論」「六次産業化実践」の実施と幌高商店会の開催（2回）。	・計画通り実施できていたが、町の産業祭との連携の在り方など、課題についても改善していく。	4
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1) 校内および町内の環境美化に取り組み	・町内清掃活動ならびに町内花いっぱい運動への参加（全校生徒）。	・町内関係機関との協働場を増やしたい。活動の場を増やすべく新たなボランティア活動への取り組みを検討していく。	4
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	(1) 地域振興に向けて、本校が主体となりそば打ち段位認定会を企画・運営します。 (2) 地域特産品を活用した加工品の開発を目指します。	・そば道段位認定会の開催。（全生徒が段位取得） ・関連機関との連携。（そば商品、返礼メニューの研究と開発） ・手打ち冷凍そばの販売。	・計画通り実施できた。今後も有段生徒が活躍できる場を増やす。 ・本校生製品の計画生産とブランド化の推進を進める。	5
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	(1) 農業に関するAIやロボット技術を学びます。 (2) Society5.0について学び得たことを地域へ発信します。	・ドローンを活用した授業や、外部講師を招いてのプレゼン講習会を実施した。 ・町政への提言を通して未来社会の姿について発表した。（2・3年）	・今後も経済発展と社会的課題の解決に向けて取り組む必要がある。	4
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	(1) 地域の教育力を活かした防災教育を行います。 (2) 農場危機マニュアルの整備をし、常に安全教育の徹底・危機管理意識向上を図ります。	・地元消防署への防災訓練（地震・火災・豪雨） ・ヒヤリハットの共有	・現段階では概ね実施できているが、想定外の自然災害対策について準備をしていく。	4